

基本目的 7 確かな学力と豊かな人間性をもった子どもが育つ

行動目標 7-2 子どもが心身ともに健やかに育つ

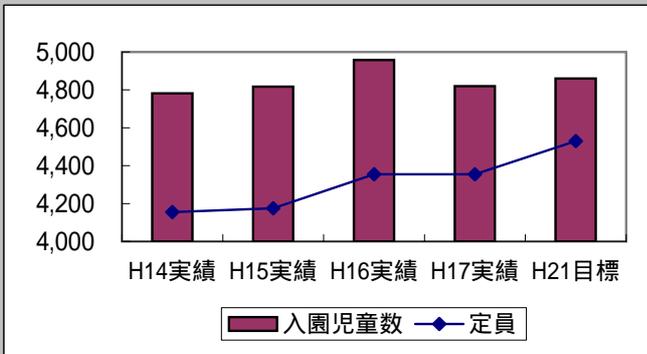
(所管課名 保健福祉部児童福祉課)

任務	子どもが健やかに育つ環境を整える
----	------------------

任務の成果・活動指標の推移

保育所 入園児童数・定員数

年度	入園児童数	定員
H14実績	4,782	4,155
H15実績	4,817	4,175
H16実績	4,958	4,355
H17実績	4,820	4,355
H21目標	4,860	4,530



あそぼう会参加者数

H14実績	41,495
H15実績	41,317
H16実績	46,078
H17実績	46,500
H18目標	48,000

保育園での統合保育児童数

H14実績	142
H15実績	127
H16実績	144
H17実績	120
H18目標	120

児童館利用者数

H14実績	40,974
H15実績	40,665
H16実績	41,711
H17実績	40,754
H18目標	44,000

指標の説明

- ・子育て家庭が必要なときに利用できる保育サービスの提供の充実の指標として、保育所 入園児童数・定員数を掲げた。
- ・気軽に利用できる子育て支援の拠点整備の指標として、あそぼう会参加者数を掲げた。
- ・障害のある子どもの保育充実の指標として、保育所での統合保育児童数を掲げた。
- ・児童の健全育成の推進の指標として、児童館利用児童数を掲げた。

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

少子化の流れを食い止め、次世代の親となる若い世代の育成を支援するため、平成17年度から21年度までの5年間を1期とした「四日市市次世代育成戦略プラン」の策定を行い、従来からの保育を中心とする育児に対する支援のみならず、地域における子育て支援をはじめ、母子保健、教育環境、生活環境、安全の確保などの多岐にわたる分野について、可能な限り定量的な目標を掲げた。

○16年度に海蔵保育園にて、新たに乳児保育を開始したほか、延長保育、3歳未満児を対象に週2、3日程度、必要に応じて柔軟に利用できる特定保育、仕事や病気、用事がある時など利用できる一時保育、病後児保育などといった保護者のニーズに応じた多様な保育メニューの提供を行うことにより、子どもを安心して生み育てる環境の充実に努めた。

○16年度に、四日市市における保育園民営化計画について策定を行い、議会、保護者や地域への市の考え方の説明を行うとともに、ホームページに掲載し、意見募集を行った。17年4月に公募を開始し、約2ヵ月をかけて「四日市市立保育園移管先法人選定委員会」において応募提案を審査し、移管先法人を選定、詳細の協議を行った。19年度移管園：河原田・水沢・西浦保育園 20年度移管：高花平・三重保育園

平成18年度

○多様化する市民ニーズを踏まえ、乳児保育(1ヶ所拡充)や延長保育(1ヶ所拡充)、週2、3日利用できる特定保育(2ヶ所拡充)や一時保育(2ヶ所拡充)、病後児保育等の多様な保育サービスの整備を行う。

○公立保育園の社会福祉法人への移管に伴い、移管時及び移管後の円滑な運営を図ることを目的とし、平成19年度移管予定の河原田、水沢、西浦保育園において保育引継事業を行う。

○新たに子育て支援センターを、単独型として旧塩浜幼稚園の跡施設を利用し設置、保育園併設型として新設のたいすい保育園において設置するなど、2ヶ所拡充を行う。

これからの課題、施策等展開の方向性

「四日市市次世代育成戦略プラン」に定められている様々な子育て支援事業を推進する。

○乳児保育や11時間の開所時間を超えて実施する延長保育、週2、3日利用できる特定保育や仕事や病気、用事がある時など利用できる一時保育、病後児保育等の多様な保育サービスの整備を行う。また、公立保育園の民営化を機に、日曜、祝日に働く保護者のための休日保育を、移管後3年以内に実施する。

子育て支援センターにおいて、楽しんで子育てできるように相談や情報提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行うなど、地域における子育て拠点の整備を推進し、子どもを安心して生み育てる環境の充実に努める。

○待機児童を出さないために必要な保育所整備(第2ひよこ保育園)を行う。